

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名 オールケア寝屋川

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		少しでも広く使用できるよう物の配置を考えています。	今後も物の配置等考えゆったり過ごせるよう努めていきます。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		人員配置数は満たしていますが、より充実した支援に努めます。	より充実した支援を行うために応援要請も必要に応じて出していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		その日に来所される利用児に合わせ環境を整備しています。	設備はされているためより配慮に努めます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		会議にてスタッフ間で話し合い共有するよう努めています。	時間が足りない時があるため、足りない時は改めて会議の時間を設けるよう配慮していきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		頂いた意見をスタッフ間で話し合い改善に努めています。	今後も頂いた意見をしっかり受け、業務改善に努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページにて公開しています。	継続して公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	法人の内部監査にて業務改善に取り組んでおります。	内部監査の評価結果にて業務改善につなげていきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		AED研修や介護研修等行っています。	今後も資質の向上のため研修や勉強会等進んで実施します。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		定期的な面談を行いスタッフに周知し、以降の計画を作成しています。	モニタリングやアンケートでの課題をスタッフ同士で考えより良い計画作成に努めます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		契約時よりアセスメントシートを作成し必要時に更新しています。	スタッフが意識し、適宜アセスに目を通し把握できるよう努めていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		児童会議にてスタッフ同士で提案し合っています。	提案を出し合って、担当を決め全員で活動できるようにしています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		児童会議にてスタッフ同士で提案し合っています。	固定化しないように提案を出し合って、担当を決め全員で活動できるようにしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		児童会議にて提案を出し合い利用時間に応じ考えています。	長期休暇等、個々のニーズにももっと目を向けていきたいです。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		<input type="radio"/>	個別支援計画をスタッフ全員把握していくよう努めています。	長期休暇等を利用して個別活動ができるよう努めていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼を行い、流れの確認をしています。	流れだけではなくその日に来所される利用児の把握もしていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終礼議事録に残し、送迎後気になった点等話あっている。	終礼のできない時には議事録に詳細を記入し、必ず把握したうえでサインをし共有しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		支援を行ったことは記録に残しています。	ヒヤリハット等は書きやすい場所に置き、日々の変化に留意し事故防止にも努めています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		定期的にモニタリングを行い計画の見直しを判断しています。	入院等あった場合は、計画の見直し(医療的ケア等)を行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>		放課後等デイサービスのガイドラインをスタッフ間で周知しています。	今後もガイドラインに沿った支援をしていきます。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が必要に応じ、参画しています。	今後も児童発達支援管理責任者が必要に応じて相談支援事業所の協議や担当者会議に参画していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の年間行事・行事予定を把握しながら、保護者との連携を図り連絡調整に努めています。	今後も年間行事・行事予定を把握しながら保護者との連携を密にし、連絡調整に努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		家族様を介し主治医の指示書を頂いています。	指定病院の連絡先もお聞きし記入して頂いていますが、変更等あれば迅速に対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		園から就学時にお話を聞き、園を訪問させて頂き活動内容等見せて頂いています。	保護者了承の上、見学や情報共有できよりよい支援につなげられるように努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		施設内では、相談支援・生活介護・居宅支援との情報共有し、必要に応じて他事業所等とも情報の共有を図っています。	必要に応じ保護者了承の上、情報の提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関へは必要に応じて助言や研修を受けています。	助言や研修で学んだことは、スタッフに周知していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		秋祭りなどの機会に、地域住民等に施設への来訪を呼び掛けます。	来訪の呼びかけ、訪問がますますの交流につながるよう働きかけを継続します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		必要に応じ、参加できるよう努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートや送迎時に保護者と直接お話を聞き、日ごろの様子やご希望を聞くよう努めています。	今後も保護者との連携を図り、共通理解を持てるように努めます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		モニタリング時等、必要に応じた支援をしています。	今後も、必要に応じ個々に合った支援を行えるよう努めます。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に、重要事項説明書等により説明を行っています。	スタッフが質問された時にもお答えができるよう努めていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリング時等に対応しています。	必要に応じて、法人内の相談支援部門との連携も図っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		必要性を感じないとのお答えもあり、参観等通じて自然に交流できる機会を設けていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		児童や保護者からの苦情には速やかにたいおうを心掛けています。	今後も迅速に対応できるよう努めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		当社のホームページなどを活用し、事業内容を発信しています。	随時、法人全体の広報で事業所の活動状況を発信してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○			定期的に職員に対して、注意喚起をしていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者と緊密に連絡を取るようになっています。	今後も緊密に保護者と連絡を取れるようにしていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		行事等、開催時には近隣住宅、マンション、学校、施設等に案内状を送付しています。	地域に開かれた事業所とする為、今後も案内状を送付し挨拶回りにも努めます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	契約時に説明し、変更あればその都度お手紙等で周知している。	全体的なマニュアル作成も考慮していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	定期的に災害の想定をし、訓練を行っている。	利用児が偏らないよう工夫し、訓練後の反省点を踏まえ次回の訓練につなげます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	毎年、虐待防止の研修に参加しています。	研修に行った職員が、事業所全体で研修をおこなって虐待防止に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	保護者等に事前に説明、了承を得たうえで個別支援計画にも記載しています。	新規契約の方には契約時に十分な説明を行い、了承を得ていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	契約時に保護者より聞き取りにてアレルギーの有無を確認しています。	アレルギーの変化等あれば随時気をつけ対応をしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	ヒヤリハット事例をミーティング等で活用し、事故防止に努めています。	今後も事故につながらない様、職員間でヒヤリハットを共有し事故防止に努めます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名 オールケア寝屋川(放課後等デイサービス保護者等数(児童数) 17名 回収数 13名 割合 76.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	<input type="radio"/>				・分からない	指導訓練スペースは利用目的に応じてスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	<input type="radio"/>				・分からない	職員配置は満たしていますが、より充実した支援に努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>				・トイレに簡易ベッドはあるか	トイレに簡易ベッドはございませんが、スペースがあるためマットを使用しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	<input type="radio"/>					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	<input type="radio"/>				・長期休暇の時のプログラムが様々で楽しいと思う	年間行事を決め、その他長期休みにはスタッフで話し合い、固定化されないよう工夫している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		<input type="radio"/>				ふれあい祭以外の交流を検討していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	<input type="radio"/>					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	<input type="radio"/>					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	<input type="radio"/>					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			<input type="radio"/>		・必要性を感じない	参観日を設けるなど必要性を考慮した取り組みに努めています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>					
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	<input type="radio"/>					常に保護者と緊密に連絡をとるよう努めます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>					ホームページ等を活用し、事業内容・日々の活動の様子を配信しています。また、随時法人全体の広報にて事業所の活動状況を配信しています。
14 個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	<input type="radio"/>					
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		<input type="radio"/>				年2回の非常災害訓練及び月1回必要な訓練を行っています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	<input type="radio"/>					
	18 事業所の支援に満足しているか	<input type="radio"/>					

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。